

厚生労働科学研究補助金（次世代育成基盤研究事業）  
（統括・分担） 研究年度終了報告書

1. ナショナルデータベースを用いた子どもの外傷診療の現況把握に関する研究

研究分担者 竹原健二 国立成育医療研究センター政策科学研究部政策開発研究室 室長

研究要旨

本研究では、レセプトデータを用いて、18歳以下の傷害で医療機関を受診した患者について、傷害に関する情報(傷害の種類、診療行為、入院の有無・期間、転帰、点数等)を抽出して外傷・傷害事例の受療状況を整理し、小児において頻度の高い傷害とその重症度の分布を把握することを目的とする。発生頻度が多い傷害を特定することにより、予防対策立案の優先リストを作成し、具体的で有効な傷害予防策の策定が可能となる。

A. 研究目的

本研究では厚生労働省が保有するレセプトデータ(NDB: National Database)を用いて、医療機関を受診した18歳以下の患者の傷害事例に関する情報(傷害の種類、部位、診療行為、入院の有無・入院期間、転帰、点数)を抽出して外傷・傷害事例の受療状況を整理し、小児において頻度の高い傷害とその重症度の分布を調査することを目的とする。

B. 研究方法

研究デザイン: NDB レセプト情報の二次データ解析

対象データ: 2015年1月～2019年12月までの厚生労働省が保有するレセプト情報(医科・DPC・歯科・調剤)

研究対象: 対象期間内で以下に該当するものすべて

- ・年齢: 0-18歳(男女)
- ・傷害関連の傷病名コードが記載されたレ

セプト(ICD-10のS・Tコード)

作成する資料:

1. 各傷害の出現件数: 診療年別・年(月)齢別・性別
2. 重症度別(処置・手術・入院(期間)・死亡の有無)各傷害の出現件数: 診療年別・年(月)齢別・性別
3. 各傷害の転帰「死亡」の件数: 診療年別・年(月)齢別・性別
4. 各傷害の医療費: 診療年別・年(月)齢別・性別

データ公表形式: 資料1参照

外部委託先(予定)の名称: 有限会社 電脳研究所

委託する業務内容: 解析用データセットおよび集計表の作成

個人情報の保護:

NDBより提供されるレセプト情報等には、氏名等の個人を特定しうる情報は含まれていない。提供されるレセプト情報については、「レセプト情報・特定健診等情報の

提供に関するガイドライン」に記載されているセキュリティ要件（※）を満たしたうえで、利用する。研究結果の公表にあたっては、最小集計単位の原則など、個人の特定可能性を低める配慮を行う。

※レセプト情報等を複写した情報システムを利用、管理及び保管する場所は、あらかじめ申し出られた施設可能な物理的なスペースに限定されており、原則として持ち出されないこと。・レセプト情報等を複写した情報システムは、インターネット等の外部ネットワークに接続しないこと。・提供されたレセプト情報等は、あらかじめ申し出られた利用者のみが利用することとし、そのほかの者へ譲渡、貸与又は他の情報との交換等を行わないこと。など

結果の公表方法：研究結果は厚労科研の報告書や学術論文等として公表する予定である。

研究終了後の資料・試料の取扱い：厚労省

から提供を受けたレセプト情報等については、利用期間終了時に、「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」に従い、返却あるいは破棄を行う。

倫理的配慮：

・人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(H29.2.28)

・独立行政法人等個人情報保護法(H29.5.30)、

・その他の指針等(名称：レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン)

#### C. 研究結果

2021年9月30日現在、当初の予定通りに厚生労働省にレセプト情報利用申請を行って、データ受取待ちである。データ取得後は、外部委託によるデータ解析を行い、本邦の小児外傷現況を明らかにする予定。

D. 研究発表 該当なし

E. 知的財産権の出願・登録 該当なし

公表形式（予定）

■ 公表される内容：小児傷害事例に関する集計

- 1) 各傷害の出現件数（≒発生率）：診療年別、月別、年齢・月齢別、性別、都道府県別、医療機関分類別
  - (ア) ICD10 小分類別件数
  - (イ) 各傷害の部位別件数
  - (ウ) 各傷害の重症度別件数
 ※重症度の特定：入院の有無・入院期間・診療行為（A・J・Kコード）
- 2) 各傷害の転帰「死亡」の件数（≒致死率）：診療年別、月別、年齢・月齢別、性別、都道府県別、医療機関分類別
- 3) 各傷害の医療費：診療年別、月別、年齢・月齢別、性別、都道府県別、医療機関分類別

■ 集計表：

- 1) 各傷害の件数（≒発生率）：診療年別、月別、年齢・月齢別、性別、都道府県別、医療機関分類別
  - ※初診関連コードあり（該当病名の診察開始日と同日）を対象に集計、もしくは患者ID単位（年間）で集計を検討。
  - ※主傷病決定フラグが「1」の傷病名による集計と、主傷病決定フラグに関わらず全傷病名による集計の両方を行う。
  - ※疑いフラグ「1」は除く。（要検討）
  - ※年齢は対象年内の疾病毎の初出年齢とする。

(ア) 傷害のカテゴリ別件数（※傷害カテゴリは文末に記載）

2015-2019 年別 レセプト種別（医科/DPC/歯科） （単位：件数／人数(%)）

		年齢	0 歳（月齢）	1 歳	...	18 歳
			総・男・女	総・男・女	総・男・女	総・男・女
月別／ 都道府 県別／ 医療機 関別	傷害カ テゴリ 別(例： 頭部外 傷)	皮膚軟部 損傷				
		頭蓋骨骨 折				
		頭蓋内損 傷				
		...				

資料3-6 データ収集

(イ) 各傷害の部位別件数

2015-2019 年別 (医科/DPC/歯科)

(単位：件数/人数(%))

		年齢	0 歳 (月齢)	1 歳	...	18 歳
			総・男・女	総・男・女	総・男・女	総・男・女
月別/ 都道府 県別/ 医療機 関別	傷害 A (例： 骨折)	頭部				
		...				
	傷害 B	頭部				
		...				

(ウ) 各傷害の重症度別件数

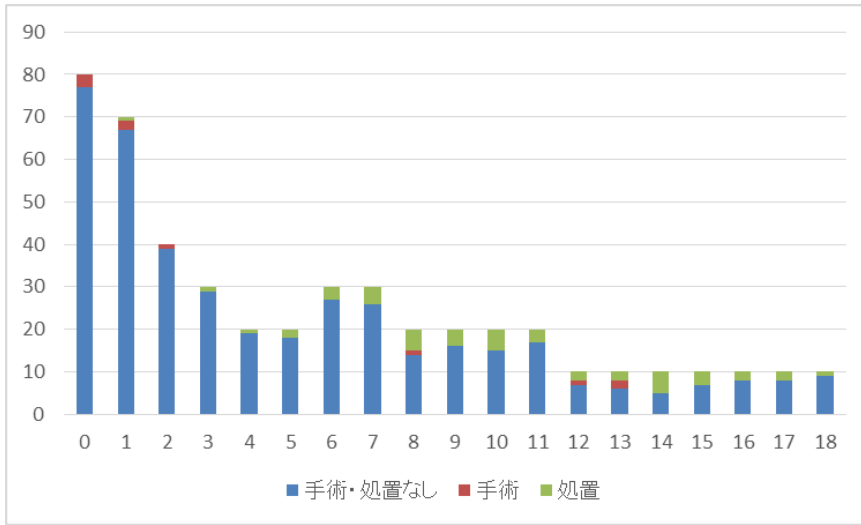
※入院の有無・入院期間・特定の診療行為から各傷害の重症度を定義し、その重症度別の件数を算出する。

例：救急医療管理加算、超重症児入院診療加算・準重症児入院診療加算特定入院料、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料

2015-2019 年別 (医科/DPC/歯科)

(単位：件数/人数(%))

		年齢	0 歳 (月齢)	1 歳	...	18 歳
			総・男・女	総・男・女	総・男・女	総・男・女
月別/ 都道府 県別/ 医療機 関別	傷病名 コード 別/傷 害カテ ゴリ別	入院あり				
		処置あり				
		手術あり				
		...				



※頻度の高い傷害のカテゴリに関して、重症度別に図を作成

2) 各傷害の転帰「死亡」の件数 (≒致死率) : 診療年別、月別、年齢・月齢別、性別、都道府県別、医療機関分類別

※医科レセプト SY、DPC レセプト SB、歯科レセプト HS の主傷病決定フラグが「1」の傷病名による集計を行う。

※死亡フラグは SY/HS の転帰区分、BU の DPC 転帰区分から作成する。

2015-2019 年別 レセプト種別 (医科/DPC/歯科) (単位: 件数/人数(%))

	年齢	0 歳 (月齢)	1 歳	...	18 歳
		総・男・女	総・男・女	総・男・女	総・男・女
月別／ 都道府 県別／ 医療機 関別	傷病名	傷害名 A			
	コード	傷害名 B			
	別／傷 害カテ ゴリ別	傷害名 C			
		...			

3) 各傷害の医療費 : 診療年別、年齢・月齢別、月別、性別、都道府県別、医療機関分類別  
 ※医科レセプト SY、DPC レセプト SB、歯科レセプト HS の主傷病決定フラグが「1」の傷病名による集計を行う。

※調剤レセプトは医科の外来レセプト (レセプト種別で判別)、歯科レセプトに都道府県コード、点数表、医療機関コード (匿名化後)、診療年月をキーとして連結する。

2015-2019 年別 (医科/DPC/歯科) (単位: 点数)

	年齢	0 歳 (月齢)	1 歳	...	18 歳
--	----	----------	-----	-----	------

			総・男・女	総・男・女	総・男・女	総・男・女
月別／ 都道府 県別／ 医療機 関別	傷病名	傷害名 A				
	コード	傷害名 B				
	別／傷	傷害名 C				
	害カテ ゴリ別	・・・				

参考：傷害のカテゴリ

部位	カテゴリ	2	3	4	5	6	7
頭部	皮膚軟部損傷	頭蓋骨骨折	頭蓋内損傷	脳震盪	その他		
顔面	皮膚軟部損傷	骨折	眼球損傷	その他			
頸部	皮膚軟部損傷	骨折	神経損傷	血管損傷	その他		
体幹部	皮膚軟部損傷	骨折	神経損傷	血管損傷	臓器損傷	その他	
上肢	皮膚軟部損傷	骨折	神経損傷	血管損傷	その他		
下肢	皮膚軟部損傷	骨折	神経損傷	血管損傷	その他		
多部位	皮膚軟部損傷	骨折	神経損傷	血管損傷	その他		
異物	気道異物	消化管異物	その他				
熱傷	頭部	顔面	頸部	体幹部	上肢	下肢	その他
腐食または 傷	頭部	顔面	頸部	体幹部	上肢	下肢	その他
中毒	薬物中毒	薬物以外の作用	食中毒	有毒動物	その他		
その他	熱中症	低体温	窒息	虐待	溺水	その他	